



学校だより

おい大空

令和7年12月26日
佐久平浅間小学校

NO. 9

佐久市長土呂1717

0267-66-1717

～86日間の学び 2学期終業式 ご協力ありがとうございました～

残暑厳しい中スタートした2学期。おおぞらまつり・お仕事ゼミ・6学年修学旅行・音楽会・児童会まつりと多くの行事で、子どもたちの成長の姿が見られました。

子どもたちの頑張りと保護者の皆様の支えにより、日頃の教育活動が成り立っていることを感じる 86日間となりました。本当にありがとうございました。3学期も、子どもたちが安心・安全に登校し、学習活動に専心して取り組めるよう、教職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

児童会まつり

12月9日に、子どもたちのアイデアが詰まった児童会まつりが行われました。本校が大事にしている『えがお宣言』が怪盗スマイル団に盗まれてしまいました。それを取り戻すために、低学年と高学年がペアとなり、各委員会が企画したブースを回りながらヒントをもらい、謎解きをしていくというとても楽しい時間を過ごすことができました。企画・運営の中心となった6年生。それをサポートし、来年は自分たちの番だと、楽しむだけでなく多くを学びながら参加した5年生。もうすぐ6年生から5年生へバトンが繋がれます。ここからの5年生の大きな成長に期待しています！



■ 1月の行事予定

8日(木) 3学期始業式 4時間授業
9日(金) 2年スケート教室
14日(水) 4時間授業・児童会選挙公示
15日(木) PTA本部役員会③
19日(月) スクールカウンセラー来校日(PM)
20日(火) 浅間中学校保護者説明会
21日(水) 児童会選挙告示・児童会⑭
4年五郎兵衛記念館見学(～23日)

23日(金) 児童会選挙運動(～30日)
26日(月) 5時間授業・CS推進委員会
スクールカウンセラー来校日(AM)
27日(火) 4時間授業
28日(水) PTA読み聞かせ
29日(木) 3年民俗資料館見学(～30日)
30日(金) 1年そり教室

<冬休み中の学校への連絡について>

冬休み中、重大な事件や事故などが起きた場合の緊急連絡は、学校へお願いします。

なお、12月27日(土)から1月4日(日)までは「学校閉庁日」となりますので、この期間については、連絡先 佐久市役所 宿日直 電話 0267-62-2111へお願いします。

連絡内容としては、「児童生徒の生命に関わる事態が発生した」、「児童生徒が行方不明になった」などの重大事案を想定しています。緊急時以外は休み明けに学校へ連絡をお願いします。

よいお年をお迎えください

明日から12日間の年末年始休業となります。ゆっくり家庭で過ごし、家族との絆を深める大切な時間にしましょう。充実したお休みをお過ごしください。令和8年1月8日(木)に元気に登校してきてくれることを楽しみにしています。

(文責：教頭 小岩井浩明)

「全国学力・学習状況調査の結果から」

本年度、全国の6年生が行った全国学力・学習状況調査の結果をもとに、本校児童の学力の実態分析を行いました。

1【国語】

- 全体の正答率について、全国、長野県の平均とほぼ同じ結果となりました。
- 学習指導要領の内容の「知識・技能」において、全国、長野県の平均をやや上回り、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国、長野県の平均をやや上回りました。
- 問題形式では、「短答式」で全国、長野県ともに平均をやや上回り、「記述式」「選択式」ではほぼ同じでした。
- いずれの問題においても無回答率が低いことが特徴として挙げられます。

2【算数】

- 全体の正答率について、全国の平均とほぼ同じ、長野県の平均をやや上回る結果となりました。
- 「思考・判断・表現」においては、全国の平均とほぼ同じ、「知識・技能」においては、全国、長野県の平均をやや上回り、学習指導要領の領域「測定」「式と計算」の問題で全国、長野県ともに平均をやや上回りました。
- 問題形式では、「記述式」で全校の平均とほぼ同じでした。「短答式」「選択式」では全国、長野県の平均をやや上回りました。

3【今後に向けて】

今年度の傾向としてあげられるのが、国語の「短答式」「記述式」の問題形式における正答率の高さと、無回答率の低さです。これは、本校のグランドデザインにある重点「ちがいをチカラにかえる授業づくり」の中で、問いや見通しを子ども達が自ら考える授業づくりや、自分と友だちの考えを交流する「アイデア交換」など、日々の実践において、自分の考えを深め、表現する力を高める授業に、教師、子どもが一体となって、粘り強く取り組んできた成果だと思えます。一方で、算数における「記述式」の問題の正答率はさらに高める余地があります。文章・図・表などで表される様々な情報の中から、必要な情報を見つけ出して整理し、順序立てて考えるような学習場面を、算数に限らず、様々な教科でも位置づけていきます。また、「自分の考えを順序立てて書き表す力」をつけていくことで、問われていることや条件を整理したり、考えを論理的に組み立てたりする力を伸ばしていきたいと思えます。

今後も、本校職員一丸となって子どもたちに魅力ある授業を提供できるように授業改善の工夫を重ねていきます。引き続き、子どもが自ら問いをもち、その解決に向けて一人一人が自分の生活体験や既習の学習から学びの見通しをもち、友とアイデアを交換しながら思考し、探究する授業作りに取り組んでいきます。また、学習した内容や経験、そこから感じたこと、生まれた気づきや疑問などを、自分の言葉で表現したり、対話したりする活動を大切にしていくことで、できた喜びやわかった実感、自分で学びを広げていく達成感を感じながら、主体的に学習に取り組む態度を育てていきます。

4【生活の様子】

- ① 人が困っているとき、進んで助けたい、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。
- ② 分からないことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫できるとしている児童が多い。
- ③ 自分と違う意見について考えることを楽しいと思っている児童が多い。
- ④ 授業での学びを次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりしようとする児童が多い。
- ⑤ 知恵の木の活動について、学び方やその良さを実感できずにいる児童もいる。

人との関わりや社会との関わりに前向きな気持ちを持っている子どもが多くいることを嬉しく思います。普段から、学校や地域での人との関わりに充実感をもっていることが、この結果につながっているのだと思います。また、自分と違う意見について考えたり、授業で学んだことを生活の中に生かしたりすることに意欲的に向かっている児童が多いことから、本校の学校目標にある「ちがいをチカラにかえる」力の伸長が期待されます。一方で、知恵の木の活動について、学び方やその良さを実感できずにいる児童もいます。ご家庭や地域の方々と連携しながら、様々な人と対話できる「アウトプット・フィードバック」の機会を学びのプロセスの中に位置づけ、自分の学びを振り返ったり、気づきを広げたりすることを通して、知恵の木の学習をさらに充実させてまいります。

今後ともご家庭や地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。